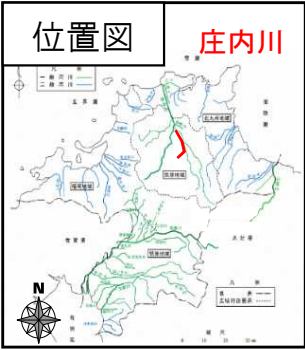


浸水対策重点地域緊急事業【遠賀川水系庄内川】（福岡県）

福岡県では平成30年7月豪雨において、県内の広い範囲で記録的豪雨を観測した。遠賀川水系庄内川では、遠賀川本川の水位上昇に加え、最大48時間雨量456mmの降雨により越水・溢水し、床上浸水138戸、床下浸水33戸の広範囲に渡る浸水被害が発生した。また、当該河川は、平成21年7月等の洪水においても浸水被害を受けている。このため、浸水対策重点地域緊急事業により、堤防整備等を集中的に実施し、治水安全度の向上を図る。

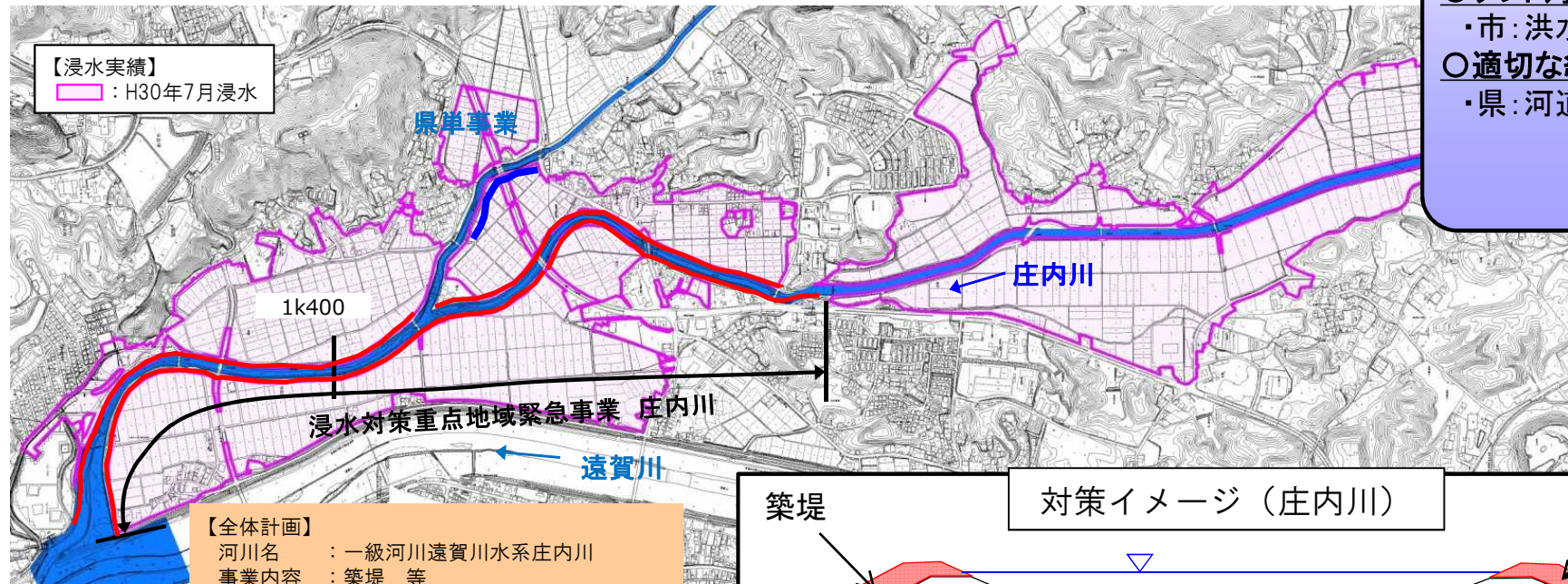


浸水被害状況

洪水名	浸水家屋(戸)		浸水面積 (ha)
	床上	床下	
H21.7洪水	17	38	67.93
H22.7洪水	3	13	84.77
H30.7洪水	138 (213)	33	201.49

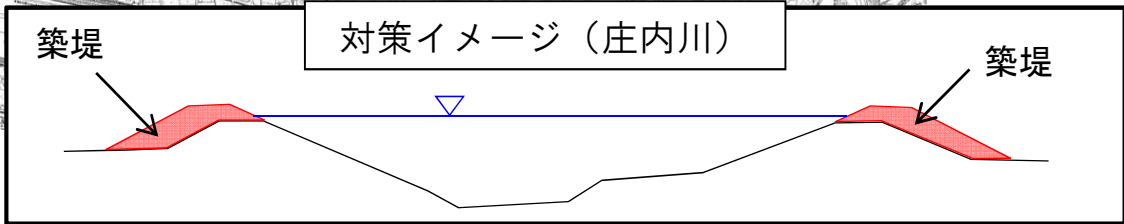
かっこ書きは高齢者世帯換算戸数

- 〈都道府県等の独自事業〉
- 県単独事業との連携
 - ・県：掘削及び伐木
：支川の堤防嵩上げ
 - ソフト対策
 - ・市：洪水ハザードマップの作成
 - 適切な維持管理
 - ・県：河道の長寿命化計画策定



【全体計画】
 河川名：一級河川遠賀川水系庄内川
 事業内容：築堤等
 全体事業費：約16億円
 事業期間：2019年～2023年

【平成31年度実施】
 実施内容：築堤等
 事業費：350百万円（国費175百万円）



※防災・安全交付金については、国の意図を示すものであり、計画への配分後の用途は地方の裁量に委ねられ、国の意図と異なる配分を妨げるものではない。